

予算決算委員会 産業建設分科会 会議録

日 時 令和2年6月18日（木曜日）

午前10時53分開会 午前11時10分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議・説明事項
 - 4 閉 会
-

出席委員（8名）

委員長	勝田	達也
副委員長	小坂	博
委 員	内田	卓男
委 員	柏村	忠志
委 員	寺内	充
委 員	矢口	清
委 員	柳澤	明
委 員	平石	勝司

欠席委員（0名）

説明のため出席した者（3名）

副市長	栗原	正夫
都市産業部長	船沢	一郎
商工観光課長	羽成	健之

事務局職員出席者 松本 裕司

傍聴者（9名）

議員	福田	一夫
議員	鈴木	一彦
議員	吉田	博史
議員	吉田	千鶴子
議員	今野	貴子
議員	田子	優奈

その他

男 3名

女 0名

○**勝田委員長** ただ今から予算決算委員会・産業建設分科会を開催いたします。それでは、協議事項に入ります。議案第48号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第5回）歳出中、第6款（商工費）について執行部より説明願います。

○**羽成商工観光課長** 議案第48号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第5回）についてご説明申し上げます。追加議案書の11ページをお願いします。第6款商工費2目商工業振興費でございます。こちら予算の合計が3億8,138万3,000円でございます。この度の補正予算につきましては、新型コロナウイルス対策事業ということで、市独自の緊急経済対策2事業に係る補正予算でございまして、事業継続の支援に係る事業となりますクラウドファンディング支援事業と、消費喚起に係る事業として、プレミアム付商品券発行事業です。こちらの内訳は、まず1つ目のクラウドファンディング事業につきましては、18節負担金補助及び交付金に、1,150万円を計上していただいています。現在、本市の活気の要となる地元飲食店が大きな影響を受け、存続の危機に立たされている状況が続いていることから、事業継続の下支えとしまして、クラウドファンディングの手法を活用し、利用券や食事券などを事前に購入いただくことにより、資金調達を促進するものでございます。クラウドファンディングの手法につきましては、新たな資金調達の仕組みとして注目されておりまして、インターネットを介し、不特定多数の方から少額ずつ資金を調達するといった手軽さや拡散性の高さなどがもたらすメリットが大きいというもので、事業継続に係る有効な支援となるものと考えております。

実施主体となる商店街連合会におきましては、クラウドファンディングのサイトの管理・運営、参加店舗等の取りまとめを行い、集まりました支援金の分配を行うとともに返礼品の作成や郵送を行うこととなるものでございます。この度、事業者の目標支援額に対します20%分の返礼品プレミアム分と支援金の決済手数料、事務費等を合わせた補助額1,450万円の増額補正をお願いするものです。続きまして2つ目の事業、プレミアム付商品券発行事業につきましては、10節需用費、11節役務費、18節負担金補助及び交付金を合わせまして3億6,688万3,000円を計上させていただいております。この事業につきましては、感染症拡大の影響により低迷しています地域経済の再生・活性化を図るために、プレミアム商品券の発行を通しまして消費の喚起を行い、市民の購買意欲を向上させることで地元消費の拡大を図り、事業者の支援とするものです。特に、現在、著しく困窮しております事業者支援の観点から、外出自粛や営業自粛などにより売上が大きく減少した業種の事業者に、今回の事業の恩恵が行き渡るような工夫を凝らし、スピーディに進めてまいりたいと考えています。今回、プレミアム分を含んだ発行総額は、過去最高となります10億800万円で、プレミアム率もこれまでの最大であった20%から大きく50%に引き上げ、インパクトを持たせたところです。商品券につきましては、これにより、商品券の魅力がこれまで以上に増すものと

考えられ、さらなる消費刺激効果が生まれるものと期待するところです。商品券の額面につきましては、様々な発行パターンを検討しました結果、1万5,000円分の商品券を1万円で購入いただくようお示ししました。その内訳としては、どこのお店でも使用できる共通券を1万円分、1,000円券を10枚としたものと、売上が大きく減少した業種に限定し、使用していただく事業者応援券を5,000円分、これは、500円券を10枚と考えておりまして、使用券種を分け、幅広く多くの店で使用していただけるよう考えてまいります。販売数ですが、今回は、市民の関心も高くなることが予想されますことから、まず購入を希望される多くの市民の皆さんに等しく行き渡るよう、全世帯分6万7,200セットを用意し、1世帯1セットを限度に販売を行いたいと考えております。各世帯につきましては、購入券を郵送し、一定の期間、市民を優先とした販売を行い、売れ残りが出たら、2次販売などに移行してまいりたいと考えております。販売場所等については、前回実施した時と同様に郵便局と提携を考えていまして、販売に係る業務を市内各郵便局にお願いしたいと考えておりますが、その他、大型店舗などにも協力を求めてまいりたいと考えております。いずれにしても、事業の実施主体となる土浦商工会議所や協力団体の新治商工会、JA水郷つくばなどと連携を図りまして、少しでも早い事業実施に取り組んでまいりたいと考えております。この度、各世帯へ発行する購入券の印刷代や郵送代と合わせ、事業者（商工会議所）へ補助金として交付します50%分のプレミアム上乗せ分と、商品券の印刷代、事務費等を合わせた補助額3億6,688万3,000円の増額補正をお願いするものです。説明は、以上でございます。

○**勝田委員長** ただ今の件に関しまして、委員の皆様、ご意見ご質問などありますか。

○**柳澤委員** 販売所の郵便局22箇所は、良いだろうというふうに思っていた。そうしたら、平石議員から土日は開いてないだろうという話があって、そうだよなど。で、大型店舗でもという話が今あったんですが、それよりも、コンビニで扱ってもらえれば。例えば花火の件だって、ローソンチケットでやってもらったでしょ。コンビニが1番身近で良いような気がするんですよ。そういう作業が間に合うのであれば、急いでそれも検討してもらえれば。例えば大型店、イオンなんかでは、イオンのどこにあるのか分からなくなってしまうということです。

○**羽成商工観光課長** 販売場所、土日の販売対応については、セットで考えてまいりたいと思います。委員おっしゃるように、市民の利便性を考慮しまして、今から可能かどうかということにつきましては、協議ということになってしまいますが、そういったところも考えながら進めてまいりたいところです。

○**平石委員** 確認ですが、印刷製本費の中に加盟店への、のぼりやポスターとかそういったものも含まれるということでしょうか。

○**羽成商工観光課長** 委員おっしゃるとおり、取扱店が分かる目印となるのぼり、取扱店に貼るポスターにつきましては、含まれているところでございます。

○**寺内委員** クラウドファンディングなんだけど、今回は商店連合会の方でやるんだよね。すると、たぶん商店連合会の人、こういうクラウドファンディングなんかやった

ときがないんだけど、当然1, 450万の予算をつけるって事は、誰か専門家を置いて、その事業をやっていくのかな。それとも、商店連合会に1, 450万やるから、その中でクラウドファンディングやってくれっていうことなのかな。行政が協力するのか、それとも丸投げするのか。

○羽成商工観光課長 商店街連合会が実施主体となりますが、実際、今回のクラウドファンディング事業の立上げに当たりましては、商店街連合会の中の有志の方が主になって、サイトの運営管理の事業設計を行い、事業を進めていただきたいと考えておりますので、丸投げということではなく、一緒に進めさせていただきたいと思っています。

○寺内委員 最初からそういう説明してくれば分かるのよ。ただ商店街連合会に1, 450万つけましたからって言うと、予算つけたんだからそっちでやってくれっていうように聞こえちゃうので。初めてやるんだっていうのは、私も聴いているので。行政が入って、クラウドファンディング一緒にやって支援していきますからっていう一言が欲しかったの。というわけで、要望しておきますから。面倒みてやってください。

○内田委員 はっきりしたことがおっしゃれないのは分かるんですけど、大体、今日時点で、いつごろから販売できるように考えられますか。それが結果と違っても、遅いじゃないかとは言いませんから。どのくらいの今、イメージでいるのかという質問です。

○勝田委員長 内田委員、これはプレミアム商品券の事ですか。

○内田委員 はい、プレミアムの方です。

○羽成商工観光課長 プレミアム商品券の実施に当たりましては、商品券の印刷であるとか、参加事業者の募集というようなことで、これまでは商工会議所商工会員の店舗に参加していただきましたが、今回、会員以外の多くの事業者の方にも参加していただくというようなことで、新たな参加者の求めをどのくらい取るかというところもございます。これまでの事例でいきますと、印刷につきまして2箇月程度かかっているところがございますが、よく商工会議所の方と、よく打合わせを進めて、一刻も早い事業の実施を進めてまいりたいと考えております。

○内田委員 今、2箇月というのは聞き違いじゃないかと思ってるんですけど、はっきりしてるのは、発注するまでに時間がかかってるってことだよな。ですから、とりあえず見切り発車でもいいから、仕事を進めない。これ、寒くなっちゃうよ。このプレミアム商品券をね、とりあえず窓口が決まらなとスタートできないみたいなことをやっていたのでは、寒くなっちゃいますよ。落ち葉が降る頃だよ、これ。だから、私のお願いしたい事は、印刷なんて、発注しちゃえばできちゃうし、販売所とかも。もう、やっちゃってから一緒に進めていくという形でないと、と思います。いかがでしょうか。

○羽成商工観光課長 委員のおっしゃるとおり、全てを待ってからでは、スタートが遅くなってしまいますので、進められる部分につきましては、すぐに進めていきますよう歩調を合わせまして、一刻も早い事業の開始に取り組ませていただきたいと思います。

○内田委員 一言だけ。完璧を求めないほうがいいです。以上です。

○勝田委員長 今、内田委員からプレミアムの時期がございましたが、クラウドに関してはどのようなタイムスケジュールでお考えでしょうか。

○羽成商工観光課長 クラウドファンディングのほうにつきましては、実施主体となります商店街連合会の皆様がお話の方を進めていることを聞いております。具体的にどの時期に始められることについては、直ちに申し上げれないのですが、こちらも早急に、事業の方は開始できますように、協力してまいりたいと考えております。

○勝田委員長 はい、よろしくお願いします。他は、ございますか。

○寺内委員 プレミアム商品券ですが、確認しますけども、例えば、飲食店に限らず使えるってことですよね。例えば、タクシーとか、食事に来ちゃったんだけど飲んじゃったから帰りに代行を頼むときでも使えるとか、そういうわけで、みんなコロナで売上が落ち込んだために、これをやるんで、そういう限定は、ないですよね、今回は。

○羽成商工観光課長 寺内委員おっしゃるとおり、今回、事業者の支援ということでございますので、参加店として登録をしていただければ、今おっしゃられましたようなタクシー又は代行でも使用できますので、広く事業者の方を募ってまいりたいと思います。

○小坂副委員長 タイムスケジュールの話については、先ほどからプレミアム券でも出ていますが、参加する事業者を募集して、それからそれを何らかの形で告知しながらやるということで、そこで時間を取られると思うんです。そのところ、どこかで切っちゃうしかないと思うのですけれど。それとも、使えないところだけを書いて、募集はしないとかね、無理だろうけど。時間的なところで言うと、そこが1番時間かかると思いますので。いかがでしょうか。

○羽成商工観光課長 小坂委員おっしゃるとおりでございまして、内田委員からもございましたが、事業者の募集を全部かけてからということではなく、まず一定の期間で走らせていただいて、その後の追加につきましては、市のホームページなりとか会議所のホームページであるとか、いろいろな媒体を使ってお知らせをしてまいりたいと考えてございます。

○勝田委員長 他にございませんか。なきようでございしますので、お諮りします。議案第48号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第5回）歳出中、第6款（商工費）については、原案どおり決することにご異議ございますか。

（「異議なし」の声あり）

○勝田委員長 ご異議なしと認めます。よって議案第48号は、原案どおり決しました。他、委員の方からございませんか。それでは、以上をもちまして予算決算委員会の分科会を閉会いたします。